

公共事業再評価調書（農林水産部）

部課室名	農地整備課 農村環境整備室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	室長(農村環境整備担当) 鈴木 宏一 (課長補佐兼係長二位孝夫)	内線	4027 (4022)
------	------------------	-------------------------	--	----	----------------

事業種目	農道	事業名		事業区域		総事業費
		農林漁業用揮発油税財 身替農道整備事業		山東北部		18億円
所在地		事業採択 年度	着工年度	完成予定 年度	進捗率	
朝来郡山東町一品他		H3	H3	H14	86.5%	
事業の目的			事業内容			
<p>本地区の農産物は、京阪神方面へ出荷されるが、出荷ルートは、渋滞する市街地を通るために多大な時間を要している。</p> <p>このため、国道427号の山東町一品と国道9号の金浦を結ぶ基幹農道の整備を行い、搬出ルートの短縮化、効率化を図るとともに農村環境の改善を図る。</p>			<p>農道 2,580m</p> <p>山東北部2期地区 700m、山東北部3期地区 1,100 mをあわせた全線延長は、4,380m で完成予定年度は平成16年度</p>			
進捗状況		<p>平成10年度までに必要な用地をすべて買収し、全線 2,580 mのうち 2,359 mまで工事を進めてきているが、国の年度毎の予算が少ないことから工事が遅れてきた。しかし、残る 221m は用地を全部買収しており、平成13年度から工事を実施し、平成14年度には山東北部地区全ての工事を完了させる予定である。</p>				
評価視点		評価結果の説明				
(1)必要性		<p>本地域は、山東町・和田山町の両町にまたがる受益地を1つに結ぶとともに、京阪神方面への農産物の搬出ルートの短縮化、効率化による農業生産の振興と生活環境の改善を図ることが必要である。</p> <p>この農道の新設により、受益地が北近畿豊岡自動車道山東インターと短距離で結ばれることとなり、農産物の搬出や都市農村交流に大きく寄与する。</p>				
(2)有効性・効率性 有効性		<p>・投資効果 = 1.05 (採択基準は1.0以上)</p>				
(3)環境適合性		<p>大きな掘削法面が発生しないように道路構造を地形条件に合わせるとともに、トンネル工法で一部を施工する。また、掘削法面は緑化を図り環境面に配慮している。</p>				
(4)優先性		<p>北近畿豊岡自動車道の和田山インターまでの開通に合わせ、地域の活性化を図るため、山東北部2期地区、山東北部3期地区とあわせて早期整備が必要である。</p>				
農林水産部の考え方						
評価の結果	継続	左の理由	上記理由により継続が妥当である。			